

- (1) 所定の期日までに受講年度の学費を納入していること。
- (2) 履修登録が完了していること。また、履修上の諸手続き(科目変更・コース変更・上級履修変更・副免履修・増加履修・追加履修など)を行う場合、**受講申込の時点で**該当の手続きが完了していること。手続きの期日はスクーリング毎に異なります。[Web TAMA]のカテゴリ「履修・教材・卒業関連」または「玉川通信」の履修担当からのお知らせを確認してください。
- (3) 休学中の場合は、該当するスクーリングの受講申込受付期間までに復学手続きが完了していること。

※スクーリングは短期集中型です。身体への負担も大きいことから、体調不良の方、妊娠されている方が受講する際には充分にお気を付けください。

## ■ 受講申込できる科目

- ① 履修年次に達したスクーリング登録科目
  - ② 履修年次に達したテキスト登録科目
  - ③ テキスト履修の単位認定保留中の科目(科目試験が合格済でレポートが不合格である科目)。
- ※[Web TAMA]からの申込の際に、受講可能科目として表示されない場合はご連絡ください。

### 注意

- ・ 単位認定保留科目をスクーリングで受講した場合、スクーリング評価の確定前にテキスト履修の再提出レポートが合格した際などは、先に評価が確定した方の成績が優先して認定されます。
- ・ 受講申請後、スクーリング受講を取り消したり、不合格となった場合は単位認定保留状況を継続とします。
- ・ 他の条件によりスクーリング受講が許可されない場合があります(例：受講定員超過、スクーリング諸費未納など)。
- ・ スクーリング受講途中での受講料返金はありません。

## ■ 受講申込できない科目

- ① 修得済の科目
- ② スクーリングを受講して結果が判明していない科目

## ■ 特定科目受講者への注意・連絡事項

### ■ 「教職(体育実技)」受講希望者

授業の中で実技を行います。



水泳学修を行う場合は自己の健康・安全と公衆衛生の見地より医療機関で健康診断を受け、健康診断書を提出する必要があります。

詳細は[Web TAMA]の「玉川通信」に掲載、および受講許可対象者へ別途ご案内します。

### ■ 「教職実践演習」受講希望者

「教職実践演習」については、受講条件があります。夏期または冬期スクーリングでの開講となりますので、計画をたてて学修をするようにしてください。なお、小学校コースについては、2月学内スクーリングでも開講します。また、他の教員免許状を所有している場合は履修が不要になる場合もあります。

### ■ 司書資格科目受講希望者



パソコン演習を行いますので、受講時までに初歩的なパソコン操作技能を身につけてください。



「教職(体育実技)」受講希望者



教職実践演習  
p. 95~97 参照



教職実践演習「教職実践演習の履修が不要となる学生」  
p. 97 参照



司書資格科目受講希望者

科目の性質上、授業内容が実務的なため、司書専門科目のテキスト学修を事前にできる限り多く進めてください。

特に「情報サービス演習(A・B)」を受講する前に、基礎学修として「情報サービス論」を学修(レポート作成)していることが望まれます。

また「情報資源組織演習(A・B)」を受講する前に、基礎学修として「情報資源組織論」を学修していることが望まれます(レポート作成、単位修得をしている必要はない)。

### ■ 社会教育主事資格科目受講希望者

「生涯学習支援論B」「社会教育課題研究」のスクーリングを受講するにあたっては、社会教育に関する知見を広めるために、「生涯学習概論」を学修(レポート提出)していることが望まれます。

「社会教育実習」は社会教育施設等での受講が必要です。また「社会教育実習」には事前・事後指導が含まれます。

### ■ 「博物館実習」受講希望者

実習内容の専門性が高く、かつ多岐にわたるので、学芸員専門科目のテキスト学修を事前にできる限り多く進めてください。特に「博物館実習」や「博物館見学実習」の前に「博物館概論」「博物館展示論」「博物館資料保存論」を学修(レポート提出)していることが望まれます。

「博物館実習」について、次に示すように受講許可条件および留意事項があります。

- (1) 「博物館実習」は「博物館見学実習」〔1単位〕と「学内博物館実習」〔2単位〕(スクーリング)をもって3単位の履修となります。1単位または2単位のどちらか一方の合格による単位認定は行いません。
- (2) 「博物館見学実習」〔1単位〕は、「学内博物館実習」を受講する前に多様な博物館を「博物館実習ガイド」にそって4館以上見学します。そして「博物館見学実習日誌」にまとめます。「博物館見学実習日誌」についての詳細は「博物館実習ガイド」に記載されています。  
※「博物館実習ガイド」は履修登録完了後、他の科目のテキストと一緒に送付します。
- (3) 「学内博物館実習」〔2単位〕は事前レポートと事後レポートの提出およびスクーリング科目として資料の収集と管理、資料の取り扱い方、展覧会の企画と運営、資料の展示などを実践的に学修します。



「博物館見学実習日誌」及び「事前レポート」について



学内博物館実習授業当日に「博物館見学実習日誌」および「事前レポート」を提出することが学内博物館実習の受講条件となります(「事前レポート」の課題は、「Web TAMA」のタグ「シラバス/レポ課題」→「シラバス照会」に掲載)。



### ■ 受講申込手続き方法

スクーリング受講申込は、各スクーリングごとに定められた所定の受付期間内に、「Web TAMA」より行います。申込に関する詳細は、「Web TAMA」のカテゴリ「各種資料(マニュアル等)」→「スクーリングガイド」に掲載します。

「Web TAMA」のタグ「シラバス/レポ課題」→「シラバス照会」に掲載される講義内容・使用テキスト・担当教員名などを参照し、その都度、指定された期間内に申込みことになります。

申込受付期間(予定)は本誌巻末または「Web TAMA」のカテゴリ「各種資料(マニュアル等)」→「2021年度 スクーリング日程・開講科目(予定)一覧」を参照してください。

### ■ 申込方法

「Web TAMA」より申込んでください。詳細については、「Web TAMA」のカテゴリ「各種資料(マニュアル等)」→「[Web TAMA](#)操作マニュアル」を参照してください。